

令和元年度 学校評価（自己評価）アンケートシート

<令和元年度学校教育目標>

『兵庫が育む、こころ豊かで自立する人づくり』を基本理念とし、明るく充実した学校生活を送る中で、調和の取れた人間性を培い、創造性とチャレンジ精神を持って国際社会に貢献し、命と人権を大切にすることこころ豊かな人間を育成する。

<重点目標>

魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを実現するため、学校組織力の強化と教職員一人ひとりの資質能力の向上を図るとともに、指導方法や指導体制の工夫改善を行う。

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力等を活用する力の育成を図るとともに、生徒一人ひとりの能力・適性などに応じた学習指導を工夫することにより、主体的・創造的に生きる力を育む。
- 2 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員として自らを律しつつ、他人を思いやる心や豊かな人間性を育む。
- 3 学校の教育活動全体を通じて、規範意識や倫理観を高め、人権尊重の精神を育むとともに、主権者教育などを通して、将来社会の責任ある一員として活躍できる資質を培う。
- 4 自他の生命を尊重するとともに、健康管理ならびに安全管理に留意し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送ることができる資質・能力を育む。
- 5 特色ある教育課程を編成・展開し、生徒一人ひとりが自己をみつめ、自己を生かし、自己の進路を主体的に決定する能力を養い、自己実現に向けてチャレンジする心を育む。
- 6 ユネスコスクールの指定を活用し、持続可能な社会を実現するために、グローバル化する世界で積極的に活躍しようとする人間の育成を図る。

【自己評価の方法】

- A;できている …4点
 B;概ねできている …3点
 C;どちらかといえば
 できていない点が多い…2点
 D;できていない …1点

【総合評価の方法】 自己評価の平均により、次の基準に従ってA～D段階で評価している。

- A：達成している(3. 1 < A ≤ 4. 0) B：ほぼ達成している(2. 6 < B ≤ 3. 1)
 C：少し工夫が必要(2. 0 < C ≤ 2. 6) D：かなり工夫が必要(1. 0 < D ≤ 2. 0)

【第3者評価】・中学校でも新学習指導要領の導入が迫っている。ICT機器を使用すると情報量が圧倒的に増え、それをどのように効果的に生徒に提示するのか、教師の意識の切り替えが大切である。教え合いや学び合い、プレゼン等の評価方法の確立が課題ではないか。また、新しい学力観と公平・公正な入試のバランス・対応も課題として挙げられるのではないか。
 ・自分自身で課題を見つけられることが社会では大切である。言われたことをやるだけでは、社会では通用しない面がある。学校教育の中で課題を見つけ、課題解決力を養っていただくのは難しい面もあると思いますが、頑張ってください。

| 番号 | 評価の観点 | 評価項目 | 評価指標 | A | B | C | D | 総合評価 | 今年度の課題と次年度へ向けて | 担当部署 |
|----|-------|-----------------------|--|----|----|---|---|-------------|--|---------------|
| 1 | | 一人ひとりの能力に応じたきめ細かな学習指導 | 授業だけでなく課題・補習・学習会などを利用して、成績不振者への補充、課題の提出、個別指導など、きめの細かい指導を行うことができている。また、選択科目等の開講講座の内容について見直しを行っている。 (3年次) 授業中の取り組みだけでなく、小テストや課題提出状況を見ながら、個別に指導している。年次会議で一人ひとりの状況を共有し、きめ細やかな指導を行っている。 (2年次) 各生徒の小テスト合格状況や課題提出状況を教科担当者だけでなく、担任や年次で共有し一人ひとりの取り組みを支援する。 (1年次) Classiを活用しながら各生徒の学習習慣を確認し学習の理解度と比較しながら基礎学力の充実を図る。 | 11 | 29 | 8 | 1 | B (3.02) | (ガイダンス部)新カリキュラム及び移行期カリキュラムの開講講座の検討を行った。また、生徒の選択科目の動向を見極めて、新講座等の検討をする。 (3年次) 進路実現に向けて、日々の取り組みの大切さを徹底する。より早い時期から目標を定め、学習に取り組みさせる。 (2年次) 進路に対する意識を向上させるための働きかけが必要と感じる。次年度に向けて一層授業を大切に、年次全体として進路実現に向かう雰囲気を醸成する。 (1年次) 課題の提出状況や考査の結果とClassiから学習習慣を確認することにより、個に応じた声掛けを行う。 | ガイダンス部 各年次 |

| 番号 | 評価の観点 | 評価項目 | 評価指標 | A | B | C | D | 総合評価 | 今年度の課題と次年度へ向けて | 担当部署 |
|----|-------|-----------------------|--|----|----|----|---|-------------|---|-----------------|
| 2 | 進路指導 | 年次と進路指導部との連携 | 模試等の結果を年次担当者と共有し、日々の進路指導に生かすとともに、生徒の進路実現に向けた補習等が実施できている。模試などの資料が面談などの進路指導に役立つよう、適宜、進路検討会を行っている。また、3年次向けに進路通信を発行し、大学進学に関する最新の情報提供を行うことができている。 | 16 | 30 | 3 | 0 | A (3.27) | (進路指導部) 模試結果の分析については、進路指導部よりも年次が先行していた。年次担当者の積極的な分析に負うところも多く、進路指導部としても早めの分析が必要である。模試結果の活用について、今年度同様、当該年次・担当者等との連携するとともに、2年次以下への進路情報提供も必要に応じて行っていく。 (ガイダンス部) 生徒の進路実現に向けて、講座履修指導などで支援を行った。また、1年次の進路希望調査、2年次第1学期の進路希望調査を行い、進路目標の明確化を図ったところであり、次年度も引き続き行う。 | 進路指導部 ガイダンス部 |
| 3 | | キャリア教育の実施 | 近隣の国立大学から大学教授を招いて学問講演会を実施し、主体的な進路選択と望ましい職業観を育むことができている。また、1年次の総合的な学習の時間において、「北須磨未来塾」など、生徒一人ひとりの進路実現に向けたガイダンス指導を充実させている。 | 18 | 29 | 2 | 0 | A (3.33) | (進路指導部) 学問入門講演会・医療看護系説明会・神戸大学訪問などを通して主体的に進路選択ができるような手助けを次年度に向けても行っていく。講演内容について生徒から希望を募ったり、事前に準備学習ができるとさらに良いと思われる。 (ガイダンス部) 「総合的な探究の時間」を通して、主体的な進路選択ができるよう取り組んだ。また、学部・学科研究、深堀り研究などにより、各々の分野への研究を深め、興味・関心を高めることができおり、次年度も引き続き行う。 | 進路指導部 ガイダンス部 |
| 4 | | 基本的生活習慣の確立といじめ防止方策の徹底 | 専任と年次の生徒指導担当との連携を密にし、指導内容の確認や統一性を図るとともに、全校集会・年次集会等で伝達、確認することで、挨拶の励行・端正な服装・余裕ある登校等、基本的な生活習慣の定着ができている。いじめアンケートを学期毎に実施し、いじめの早期発見・早期対応に努めている。また、いじめ防止基本方針の見直しを行い、組織的にいじめの未然防止、早期解決が行えるように体制を整えている。 | 14 | 26 | 12 | 3 | B (3.06) | 拡大生徒指導部会を通して、年次からの情報を共有するとともに、各種生徒指導協議会からの情報を各年次、全職員に周知徹底しなければならない。また、校門立ち当番(校門指導)を通して、気になる生徒の情報を年次と共有していくことが必要である。いじめアンケートだけでなく、教員がアンテナを高くして生徒の異変を察知し、組織的に対応する体制を構築するよう努める。 | 生徒指導部 |

| 番号 | 評価の観点 | 評価項目 | 評価指標 | A | B | C | D | 総合評価 | 今年度の課題と次年度へ向けて | 担当部署 |
|----|-----------|-----------------------|--|---|----|----|---|-------------|---|--------|
| 5 | 生徒指導 | 生徒会を中心とした生徒の自主的活動の推進 | 生徒会執行部が中心となり、生徒が自主性をもって行事等の企画・運営ができています。また、文化祭や体育大会等に生徒自身のアイデアを取り入れた新たな取り組みを行うことができています。 | 8 | 26 | 12 | 3 | B (2.80) | 生徒会執行部と専任・年次の生徒指導担当職員との連携を密にし、適切な指導と助言をしていく必要がある。特に、学校行事の企画に対しては、実現可能なプランに対しては積極的に後押しをするとともに、一般生徒を上手く活用し、行事を活性化するように努める。 | 生徒指導部 |
| 6 | | 美化清掃の徹底 | 通常清掃や大掃除への真摯な取り組みにより、校内の整理整頓が維持できているとともに、生徒一人ひとりの美化意識の高揚が図られている。 | 4 | 37 | 6 | 2 | B (2.88) | 大掃除の際、清掃用具の不足のために、十分な清掃活動を行うことができなかった区域があった。次年度は、清掃用具の点検等を再度行った上、清掃用具を充実させるとともに、管理委員の活動の活性化に努める。 | 総務部 |
| 7 | | 家庭や地域への情報発信 | 授業公開やホームページのリアルタイムの更新をはじめ、年次通信・保健だより・中学校・塾等での説明会等を通じて、本校教育活動の情報を提供し、充実した広報活動を行うことができています。 | 9 | 31 | 8 | 1 | B (2.98) | ホームページの作成において、学校全体での取り組みが必要である。また、中学校・塾訪問等ではごく一部の人間での実施となっており、その実態を知らない教員も多いと考えられる状況であり、実施において、工夫を検討する。 | ガイダンス部 |
| 8 | 開かれた学校づくり | 近隣の各種施設等との交流と自己有用感の育成 | 地域での演奏会、近隣の福祉施設への訪問・手伝い、特別支援学校の行事への参加を通して、地域との交流を深め、思いやりの心を育てている。また、通学路清掃「ふるさとクリーンアップ作戦」により、公共心を養うとともに、地域との結びつきを強めている。東日本大震災等の募金活動にも積極的に取り組んでいる。 | 6 | 37 | 6 | 0 | B (3.00) | 通学路清掃「ふるさとクリーンアップ作戦」ではPTAや地域の方々にも参加していただき、意義ある活動となっているが、生徒が地域の年長者とふれあえる良き機会であるにも関わらず、お互いのインターアクションがまだまだ不十分で、せっかくの機会を十分に生かし切れていないようである。次年度は、生徒側からもっとアクションを起こせるように指導していく。 | 総務部 |

| 番号 | 評価の観点 | 評価項目 | 評価指標 | A | B | C | D | 総合評価 | 今年度の課題と次年度へ向けて | 担当部署 |
|----|--------|-------------------------|--|----|----|----|---|-------------|---|---------------|
| 9 | 家庭との連携 | 携帯メールによる緊急連絡システムの効果的な活用 | ラインネットを有効に活用し、緊急時や重要事項の伝達が効果的に実施できている。必要に応じて管理職の了承の元、ガイダンス部を始めとする各部・各年次と協議しながら配信を行う。 | 13 | 25 | 10 | 1 | B (3.02) | (ガイダンス部) 登録していただけない家庭への登録依頼を行う。 (3年次) ラインネットの登録を積極的に呼びかける。 (2年次) 警報時の対応や修学旅行等の情報を確実に伝達することが出来た。次年度も年度の早い段階で登録が完了するように働き掛ける。 (1年次) ガイダンス部と連携しラインネットを活用する。 | ガイダンス部 各年次 |
| 10 | | 家庭と連携した教育活動の推進 | 保護者会、面談、電話等によるきめ細かな連絡を通じて、家庭と連携を図りながら教育活動に取り組むことができている。また、教育活動への理解促進を図るために、年次通信を定期的に発行するなど情報発信に努めている。 (3年次) 年次通信を頻繁に発行し、生徒の活動や成果を積極的に発信している。 (2年次) 年次通信を定期的に発行配布すると同時に学校HPにもアップしている。年次独自の取り組みは随時学校HPでも紹介し、生徒の活動や年次の取り組みを積極的に発信している。 (1年次) 年次通信の発行は活発に行っているが、肖像権の許可状況もあり、HPへのアップは困難となっている。 | 18 | 29 | 2 | 0 | A (3.33) | (3年次) 定期的に年次通信を発行したが、HPへのアップができなかった。 (2年次) 定期的に年次通信を発行し、同時に学校HPへアップすることが出来た。次年度もこれを継続し、加えて進路情報を家庭と共有することを強く意識したい。 (1年次) HPへのアップは行っていないが、年次通信は定期的に発行し、生徒の活動の様子や年次の取り組みを発信する。 | 各年次 |
| 11 | | 授業研究と指導力向上 | 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、指導方法を研究するとともに、公開授業や研究授業を通して、さらなる授業の工夫・改善を図り、指導力の向上に努める。 | 8 | 34 | 5 | 2 | B (2.98) | 課題として、時間割の関係上、同じ教科の研究授業が見学しにくい状況がある。次年度は、研究授業週間だけでなく、日常から各教科、各個人において、更なる授業の工夫・改善を図ることにより、指導力の向上に努める。 | 教務部 |

| 番号 | 評価の観点 | 評価項目 | 評価指標 | A | B | C | D | 総合評価 | 今年度の課題と次年度へ向けて | 担当部署 |
|----|--------------|--------------------------------|--|----|----|---|---|-------------|---|--------------|
| 12 | 教職員の 資質向上 | 生徒情報 の共有と 教育相談体制 | <p>年次との連携を密に、気になる生徒については面談を適宜行うとともに、カウンセラーによる面談を実施している。学校での生徒の様子と家庭での様子について、保護者と情報を共有し生徒把握に努めている。また、カウンセリングマインドに係る研修会を行い、教職員の指導力向上を図っている。</p> <p>(3年次) 年次内の連絡、報告を密にし、気になる生徒には面談等を通じて話を聞くようにしている。また、必要があれば、スクールカウンセリングを促し、問題解決に努めている。</p> <p>(2年次) 毎週実施する年次会で生徒情報の共有を必ず行う。必要に応じてカウンセリング受講を促し、保護者との連絡を必ず行う。また、生徒指導部、養護教諭、管理職とも随時情報の共有を心掛け、チームとして対応する。</p> <p>(1年次) キャンパカウンセリングの予約依頼には迅速に対応し、状況把握と打開策の相談には、担任も参加するなど積極的に生徒把握に努めている。</p> | 18 | 28 | 2 | 1 | A (3.29) | <p>(生徒指導部) 各年次との連携を心掛け、気になる生徒に対しては、情報共有することができた。また、支援が必要な生徒について、支援委員会を定期的開催した。次年度も継続した取り組みを行う。</p> <p>(3年次) 年次内はもちろん、学校全体で情報を共有するように努めた。保護者とも連絡を密に取り、問題解決に導いた。</p> <p>(2年次) 年次内で生徒情報をしっかり共有し、必要に応じて保護者や各部・各担当者との連携することが出来た。次年度も継続した取り組みを行う。</p> <p>(1年次) カウンセリングが必要な生徒の保護者とは連携を密にし、状況把握と打開に向けて、教育相談をすすめ、また、年次内で情報を共有する。</p> | 生徒指導部 各年次 |
| 13 | 学校の 特色化 | ユネスコ スクール としての ESDの推進 | <p>ユネスコスクールとして、国際交流、防災教育、環境教育、平和・人権教育に力を入れている。身近な裏山の調査から海外の高校との交流や模擬国連への参加等、SDGs(持続可能な開発目標)を考える機会を設けている。今年度は新たな取り組みとして、ユニクロと協働し、近隣の小中学校に協力を呼び掛けて、古着を難民に送る取り組みを行う。</p> | 9 | 34 | 4 | 2 | B (3.02) | <p>1年次は「服プロジェクト」、2年次は「SDGs」といった年次毎に取り組める内容を運営できたことは大きな成果である。その一方、3年次でESDに取り組めた生徒は少ないことから、次年度は、取り組み内容を見越した予算計画を立てることによって、多くの生徒にESDを推進する。</p> | ESD推進委員会 |

令和元年度 学校評価アンケート結果

- 1 実施日 令和元年10月
- 2 回答者・回答率 生徒664名(92.6%)、保護者555名(77.4%)、教員51名(100%)
- 3 評価段階 4: と思う 3: どちらかといえば思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない
- 4 総合評価 A: 達成している(3.1 < A ≤ 4.0) B: ほぼ達成している(2.6 < B ≤ 3.1)
C: 努力を要する(1.0 < C ≤ 2.6) (評価は4点満点)

| 質問内容・結果 (単位は%) | | 令和元年度 | 総合 (R1) | 平成30年度 | 総合 (H30) | 平成29年度 | 総合 (H29) |
|--|--|---------------|---------|---------------|----------|---------------|----------|
| 設問1: 明るく充実した学校生活を送っている 単位は、% <input type="checkbox"/> ④ と思う <input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば思う <input type="checkbox"/> ② どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/> ① そう思わない | | 生徒 A 3.31 | A | 生徒 A 3.29 | A | 生徒 A 3.22 | A |
| 生徒 | | 保護者 A 3.36 | | 保護者 A 3.34 | | 保護者 A 3.39 | |
| 保護者 | | 教員 A 3.17 | | 教員 A 3.13 | | 教員 A 3.27 | |
| 教員 | | TOTAL 3.28 | | TOTAL 3.25 | | TOTAL 3.29 | |
| 設問2: 北須磨高校に入学して良かった 単位は、% <input type="checkbox"/> ④ と思う <input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば思う <input type="checkbox"/> ② どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/> ① そう思わない | | 生徒 B 2.99 | A | 生徒 B 2.99 | A | 生徒 B 3.07 | A |
| 生徒 | | 保護者 A 3.41 | | 保護者 A 3.39 | | 保護者 A 3.48 | |
| 保護者 | | 教員 A 3.13 | | 教員 A 3.16 | | 教員 A 3.21 | |
| 教員 | | TOTAL 3.18 | | TOTAL 3.18 | | TOTAL 3.26 | |
| 設問3: 校内では気持ちの良い挨拶ができています 単位は、% <input type="checkbox"/> ④ と思う <input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば思う <input type="checkbox"/> ② どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/> ① そう思わない | | 生徒 B 3.04 | B | 生徒 B 2.98 | B | 生徒 B 2.73 | B |
| 生徒 | | 保護者 A 3.18 | | 保護者 A 3.12 | | 保護者 A 3.13 | |
| 保護者 | | 教員 B 2.83 | | 教員 B 2.61 | | 教員 B 2.80 | |
| 教員 | | TOTAL 3.02 | | TOTAL 2.90 | | TOTAL 2.95 | |
| 設問4: わかりやすい授業をしている教員が多い 単位は、% <input type="checkbox"/> ④ と思う <input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば思う <input type="checkbox"/> ② どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/> ① そう思わない | | 生徒 B 2.79 | B | 生徒 B 2.66 | B | 生徒 B 2.73 | B |
| 生徒 | | 保護者 B 2.82 | | 保護者 B 2.78 | | 保護者 B 2.80 | |
| 保護者 | | 教員 B 2.96 | | 教員 B 3.06 | | 教員 A 3.23 | |
| 教員 | | TOTAL 2.85 | | TOTAL 2.83 | | TOTAL 2.92 | |
| 設問5: 教科指導に熱心な教員が多い <input type="checkbox"/> ④ と思う <input type="checkbox"/> ③ どちらかといえば思う <input type="checkbox"/> ② どちらかといえばそう思わない <input type="checkbox"/> ① そう思わない | | 生徒 B 3.03 | B | 生徒 B 2.92 | B | 生徒 B 2.96 | B |
| 生徒 | | 保護者 B 2.96 | | 保護者 B 2.91 | | 保護者 B 2.96 | |
| 保護者 | | 教員 A 3.30 | | 教員 A 3.28 | | 教員 A 3.37 | |
| 教員 | | TOTAL 3.10 | | TOTAL 3.04 | | TOTAL 3.09 | |

| 質問内容・結果 (単位は%) | 令和元年度 | 総合 (R1) | 平成 30年度 | 総合 (H30) | 平成 29年度 | 総合 (H29) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|------------|------------|-------------|------------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|----|--|---|--|---|--|---|
| <p>設問6: 知的好奇心を抱かせたり、学習意欲が高まる授業が多い 単位は、%</p> <p>☐④ そう思う ☐③ どちらかといえばそう思う ☐② どちらかといえばそう思わない ☐① そう思わない</p> <table border="1"> <tr><th>対象</th><th>④</th><th>③</th><th>②</th><th>①</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>11%</td><td>44%</td><td>36%</td><td>9%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>8%</td><td>55%</td><td>34%</td><td>3%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>6%</td><td>76%</td><td>16%</td><td>2%</td></tr> </table> | 対象 | ④ | ③ | ② | ① | 生徒 | 11% | 44% | 36% | 9% | 保護者 | 8% | 55% | 34% | 3% | 教員 | 6% | 76% | 16% | 2% | 生徒 C 2.57 保護者 B 2.67 教員 B 2.86 TOTAL 2.70 | B | 生徒 C 2.45 保護者 B 2.63 教員 B 2.86 TOTAL 2.64 | B | 生徒 C 2.48 保護者 B 2.66 教員 B 2.87 TOTAL 2.67 | B |
| 対象 | ④ | ③ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒 | 11% | 44% | 36% | 9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 8% | 55% | 34% | 3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教員 | 6% | 76% | 16% | 2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>設問7: 課題の内容と量は学力をつけるうえで適切である 単位は、%</p> <p>☐④ そう思う ☐③ どちらかといえばそう思う ☐② どちらかといえばそう思わない ☐① そう思わない</p> <table border="1"> <tr><th>対象</th><th>④</th><th>③</th><th>②</th><th>①</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>13%</td><td>34%</td><td>31%</td><td>23%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>19%</td><td>51%</td><td>22%</td><td>8%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>7%</td><td>54%</td><td>33%</td><td>7%</td></tr> </table> | 対象 | ④ | ③ | ② | ① | 生徒 | 13% | 34% | 31% | 23% | 保護者 | 19% | 51% | 22% | 8% | 教員 | 7% | 54% | 33% | 7% | 生徒 C 2.36 保護者 B 2.81 教員 B 2.61 TOTAL 2.59 | C | 生徒 C 2.59 保護者 B 2.93 教員 B 2.76 TOTAL 2.76 | B | 生徒 B 2.61 保護者 B 2.95 教員 B 2.81 TOTAL 2.79 | B |
| 対象 | ④ | ③ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒 | 13% | 34% | 31% | 23% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 19% | 51% | 22% | 8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教員 | 7% | 54% | 33% | 7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>設問8: 課題をこなすことで学力がついていると感じる 単位は、%</p> <p>☐④ そう思う ☐③ どちらかといえばそう思う ☐② どちらかといえばそう思わない ☐① そう思わない</p> <table border="1"> <tr><th>対象</th><th>④</th><th>③</th><th>②</th><th>①</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>11%</td><td>37%</td><td>33%</td><td>19%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>17%</td><td>48%</td><td>27%</td><td>8%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>13%</td><td>43%</td><td>37%</td><td>7%</td></tr> </table> | 対象 | ④ | ③ | ② | ① | 生徒 | 11% | 37% | 33% | 19% | 保護者 | 17% | 48% | 27% | 8% | 教員 | 13% | 43% | 37% | 7% | 生徒 C 2.40 保護者 B 2.74 教員 B 2.63 TOTAL 2.59 | C | 生徒 C 2.50 保護者 B 2.78 教員 C 2.55 TOTAL 2.61 | B | 生徒 C 2.54 保護者 B 2.84 教員 B 2.67 TOTAL 2.68 | B |
| 対象 | ④ | ③ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒 | 11% | 37% | 33% | 19% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 17% | 48% | 27% | 8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教員 | 13% | 43% | 37% | 7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>設問9: 自主的な学習に取り組みやすい学習環境が整えられている 単位は、%</p> <p>☐④ そう思う ☐③ どちらかといえばそう思う ☐② どちらかといえばそう思わない ☐① そう思わない</p> <table border="1"> <tr><th>対象</th><th>④</th><th>③</th><th>②</th><th>①</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>19%</td><td>42%</td><td>29%</td><td>11%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>17%</td><td>55%</td><td>23%</td><td>5%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>9%</td><td>56%</td><td>33%</td><td>2%</td></tr> </table> | 対象 | ④ | ③ | ② | ① | 生徒 | 19% | 42% | 29% | 11% | 保護者 | 17% | 55% | 23% | 5% | 教員 | 9% | 56% | 33% | 2% | 生徒 B 2.69 保護者 B 2.85 教員 B 2.72 TOTAL 2.75 | B | 生徒 B 2.64 保護者 B 2.78 教員 C 2.50 TOTAL 2.64 | B | 生徒 B 2.72 保護者 B 2.89 教員 C 2.52 TOTAL 2.71 | B |
| 対象 | ④ | ③ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒 | 19% | 42% | 29% | 11% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 17% | 55% | 23% | 5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教員 | 9% | 56% | 33% | 2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>設問10: 自分の進路に応じた効果的な選択科目が準備されている 単位は、%</p> <p>☐④ そう思う ☐③ どちらかといえばそう思う ☐② どちらかといえばそう思わない ☐① そう思わない</p> <table border="1"> <tr><th>対象</th><th>④</th><th>③</th><th>②</th><th>①</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>33%</td><td>53%</td><td>10%</td><td>4%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>29%</td><td>59%</td><td>10%</td><td>2%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>22%</td><td>54%</td><td>22%</td><td>2%</td></tr> </table> | 対象 | ④ | ③ | ② | ① | 生徒 | 33% | 53% | 10% | 4% | 保護者 | 29% | 59% | 10% | 2% | 教員 | 22% | 54% | 22% | 2% | 生徒 A 3.15 保護者 A 3.15 教員 B 2.96 TOTAL 3.09 | B | 生徒 B 3.09 保護者 B 3.09 教員 B 3.00 TOTAL 3.06 | B | 生徒 A 3.11 保護者 A 3.18 教員 B 3.04 TOTAL 3.11 | A |
| 対象 | ④ | ③ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒 | 33% | 53% | 10% | 4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 29% | 59% | 10% | 2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教員 | 22% | 54% | 22% | 2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>設問11: 1年次の選択科目ガイダンスを通じて進路意識が高まった 単位は、%</p> <p>☐④ そう思う ☐③ どちらかといえばそう思う ☐② どちらかといえばそう思わない ☐① そう思わない</p> <table border="1"> <tr><th>対象</th><th>④</th><th>③</th><th>②</th><th>①</th></tr> <tr><td>生徒</td><td>34%</td><td>40%</td><td>19%</td><td>7%</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>24%</td><td>50%</td><td>21%</td><td>4%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>19%</td><td>57%</td><td>24%</td><td>0%</td></tr> </table> | 対象 | ④ | ③ | ② | ① | 生徒 | 34% | 40% | 19% | 7% | 保護者 | 24% | 50% | 21% | 4% | 教員 | 19% | 57% | 24% | 0% | 生徒 B 3.00 保護者 B 2.95 教員 B 2.95 TOTAL 2.97 | B | 生徒 B 2.93 保護者 B 2.90 教員 B 3.08 TOTAL 2.97 | B | 生徒 B 2.89 保護者 B 2.95 教員 A 3.12 TOTAL 2.99 | B |
| 対象 | ④ | ③ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒 | 34% | 40% | 19% | 7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者 | 24% | 50% | 21% | 4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教員 | 19% | 57% | 24% | 0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 質問内容・結果 (単位は%) | 令和元年度 | 総合 (R1) | 平成 30年度 | 総合 (H30) | 平成 29年度 | 総合 (H29) |
|--|--|------------|--|-------------|--|-------------|
| <p>設問12: 生徒と教員は普段から十分なコミュニケーションがとれている 単位は、%</p> <p>☐④そう思う ☐③どちらかといえばそう思う ☐②どちらかといえばそう思わない ☐①そう思わない</p> <p>生徒 21% 49% 26% 5%</p> <p>保護者 24% 50% 21% 4%</p> <p>教員 19% 57% 24% 0%</p> | 生徒 B 2.85 保護者 B 2.95 教員 B 2.95 TOTAL 2.92 | B | 生徒 B 2.75 保護者 B 2.94 教員 B 2.63 TOTAL 2.77 | B | 生徒 B 2.71 保護者 B 2.99 教員 B 2.77 TOTAL 2.82 | B |
| <p>設問13: 困ったときに相談できる教員がいる 単位は、%</p> <p>☐④そう思う ☐③どちらかといえばそう思う ☐②どちらかといえばそう思わない ☐①そう思わない</p> <p>生徒 18% 35% 28% 18%</p> <p>保護者 12% 48% 33% 7%</p> <p>教員 12% 67% 21% 0%</p> | 生徒 C 2.54 保護者 B 2.67 教員 B 2.91 TOTAL 2.70 | B | 生徒 C 2.39 保護者 C 2.60 教員 B 3.03 TOTAL 2.67 | B | 生徒 C 2.33 保護者 B 2.66 教員 B 2.85 TOTAL 2.61 | B |
| <p>設問14: 学校行事等は、生徒の自主性が高められるように工夫されている 単位は、%</p> <p>☐④そう思う ☐③どちらかといえばそう思う ☐②どちらかといえばそう思わない ☐①そう思わない</p> <p>生徒 23% 49% 21% 7%</p> <p>保護者 21% 64% 13% 2%</p> <p>教員 9% 65% 21% 5%</p> | 生徒 B 2.89 保護者 B 3.04 教員 B 2.79 TOTAL 2.91 | B | 生徒 B 2.81 保護者 B 2.98 教員 B 2.68 TOTAL 2.82 | B | 生徒 B 2.76 保護者 B 3.01 教員 C 2.54 TOTAL 2.77 | B |
| <p>設問15: 部活動の指導内容や活動時間は適切である 単位は、%</p> <p>☐④そう思う ☐③どちらかといえばそう思う ☐②どちらかといえばそう思わない ☐①そう思わない</p> <p>生徒 29% 44% 15% 12%</p> <p>保護者 21% 47% 22% 10%</p> <p>教員 7% 53% 29% 11%</p> | 生徒 B 2.91 保護者 B 2.78 教員 C 2.56 TOTAL 2.75 | B | 生徒 B 2.85 保護者 B 2.83 教員 B 2.61 TOTAL 2.76 | B | 生徒 B 3.00 保護者 B 2.95 教員 B 2.79 TOTAL 2.91 | B |
| <p>設問16: 年次通信・HPなどを通して適切な情報発信を行っている 単位は、%</p> <p>☐④そう思う ☐③どちらかといえばそう思う ☐②どちらかといえばそう思わない ☐①そう思わない</p> <p>生徒 28% 54% 12% 5%</p> <p>保護者 26% 58% 13% 3%</p> <p>教員 29% 62% 7% 2%</p> | 生徒 B 3.06 保護者 B 3.08 教員 A 3.17 TOTAL 3.10 | B | 生徒 A 3.11 保護者 A 3.11 教員 A 3.26 TOTAL 3.16 | A | 生徒 B 3.03 保護者 B 3.02 教員 A 3.15 TOTAL 3.07 | B |